

令和4年12月

師走、年の瀬となりました。ホリデーシーズンでもあり、トロント周辺では様々な行事が行われています。まずは4年に1度のサッカーワールドカップに関するイベントからご紹介したいと思います。

パブリックビューイングイベント@JCCC

12月1日、日系文化会館(JCCC)においてサッカーワールドカップのカナダ対モロッコ、および日本対スペインの試合のパブリックビューイングイベントが行われました。私も、日本とスペインとの試合の冒頭皆様に挨拶をする機会が与えられました。日本代表チームのユニフォームをお借りして挨拶をさせていただきました。そして予選突破がかかったこの大切な試合に日本は優勝経験を持つ強豪スペインに逆転勝ちを収めました！「ドーハの悲劇」が「歓喜」に進化した試合でした。

会場には多くのサッカーキッズ、家族連れが訪れ、また日本とスペイン以外にも様々なコミュニティからの参加者がおられました。スポーツを通じて皆がひとつになれる瞬間で、大変貴重な経験をさせていただきました。



今回のワールドカップは北米地域での開催となります。また次回大会からは参加国が今回大会より増え、48カ国となると聞いております。カナダは主催国としてトロントとバンクーバーでの試合開催も発表されました。すでにサッカー関係者の方は様々な準備を始めておられます。4年後に向けてさらにスポーツが盛り上がっていくことを期待したいと思います。

達増拓也岩手県知事のカナダご訪問

オンタリオ州、トロントの和食ブーム、日本食材への関心の高まりは随時当館の報告でもお伝えしてきているところですが、そのような動きに注目している県の1つに岩手県があります。12月11日より、岩手県の達増拓也知事がトロントを皮切りにオタワ、モントリオール、バンクーバーを訪問され、岩手県の優れた食材のトップセールスを実施しました。

日本とカナダが参加するCPTPPは既に発効しております。関税の中には実施年以降順次関税が下げられる品目があり、例えば日本からカナダへの冷凍牛肉の輸出は令和5年1月より関税が撤廃されます。12日に岩手県の優れた産品、特にいわて牛、お米(「銀河のしずく」)、りんご、日本酒(「南部美人」)を中心に総領事公邸にてレセプションを開催いたしました。

レセプションでは、すでにこれら岩手の産品を活用しているトロント周辺のレストラン、業界関係者の皆様、また今後これらの産品を購入されることを考えておられる関係者の方々をお招きし、試食をしていただきました。

12月の寒い季節の開催ですが、公邸内は熱気に溢れ食材の良い香りが漂い、関係者は素晴らしい食材に舌鼓を打ちました。知事は、岩手県の食材活用者にお礼を述べるとともに、新たに購入を検討している人たちに積極的に働きかけられました。大変好評、効果的なイベントとなったと思います。

カナダ連邦政府は、新たにインド太平洋に関する政策を取りまとめて発表したところです。その中では日本との関係強化が強調されています。今回のような取り組みが岩手産品のカナダへの普及のみならず、大きな意味で日本とカナダの関係強化につながることを願っています。

令和4年も年末となりました。今年はオミクロン株の流行に始まりオンタリオ州も何度目かのロックダウン状態となりました。その後徐々に感染状況も改善され、日本の水際措置も10月には大きく緩和されることとなりました。この1年間、月例報告に目を通していただいた皆様にお礼を申し上げます。来年度も、総領事館が見聞きたこ

と、経験したこと、皆様の動きなどを様々な視点からお伝えしていき、トロント、オンタリオ州の「今」をお伝えして参りたいと思います。

良いホリデーシーズン、良いお年をお迎えください。



(了)